

**利用案内**  
 【開館時間】  
 9:00 ~ 17:15  
 【休館日】  
 月曜日（月曜日が祝日の場合は開館、翌火曜日が休館）  
 第3日曜日・月末日・年末年始  
 (12/27~1/6)・資料整理期間(3/6~3/12)

# れきみんだより

## REKIMIN-DAYORI NO.36

### 現在開催中の展示 / CURRENT EXHIBITIONS

#### 第1展示室

「東温の歴史」(常設展示)  
 発掘資料や指定文化財(二部複製 など、東温地域の歴史を通史的に紹介。

#### 「住まう道具」

居住空間/作業空間である「住居(すまい)」で使われた昭和時代の道具を展示。

#### 第2展示室

#### いきものと収蔵庫 カメムシ編

れきみんの収蔵庫は、自然豊かな小山の上に建てられています。ご近所には福祉施設や足利氏創建の安国寺、お向かいには先日、平和祈念の碑が新たに建てられたばかりの戦没者墓地があります。

「自然豊かな」場所にあるという事は、そこを抛り処とする生物もいる、ということ。暖かい季節になるのは喜ばしいですが、残念ながらこれからは、収蔵庫でも数多くの生物を目にする事になります。

春めいてきたとはいえ、まだ寒さの残るうちから知らぬ間に厄介な侵入者。それがカメムシです。

しかしここは収蔵庫。日々の清掃や防除には鋭意取り組んでいるのですが、絶妙な場所で留まる/事切れているため、作業中はうっかり踏まぬよう注意深く歩かねばなりません。

ひとまず調べたところ、最近館内にお見えなのはこちら(↑)の2種のもよう。元気な方たちには何とか穏便にお引き取り頂く(お外へ出す)ため、今日もちりとり片手に館内に目を光らせております。

【ロビー展示】飾る道具  
 期間：6月15日まで

#### 飾る道具

今回の「飾る道具」では、一年を通じて、あるいは節句など特定の時期のために飾られた人形たちを集めてみました。展示資料はほとんどが東温市域で採られたもの。手作りの素朴な佇まいにもご注目ください！



(おそらく) クサキカメムシ  
 (たぶん) ミナミアオカメムシ

#### 展示資料から

姫だるま (ひめだるま)  
 第2展示室「住まう道具」内で展示

かつて中予地方でみられた、春の節句に天神人形を飾るといふ風習。今回ロビー展示では、その天神人形の制作者たちが手がけた縁起物、福助や大黒天、恵比寿天などの土人形を集めてみました。



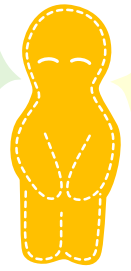
↑ 金天だるま

またロビーでは地域ゆかりの縁起物として「金天だるま」や「姫だるま」も展示しています。金天だるまは、松山の天神人形を製作した岡村氏による郷土玩具で、そこから姫だるまが創案されたといわれています。第2展示室にもひっそり(?)おられますので、ぜひご覧ください！

#### 編集後記

◆本館第1展示室では、東温ゆかりの教育者による日記を展示しています。江戸から昭和を生きた彼は、昭和21年(1946)年末、83歳で南海地震を経験します。当日の日記には発生直後の様子を詳細に綴り、その規模を「安政大地震後未曾有の大震」と表現しました。「安政大地震(安政南海地震)」とは、嘉永7年(1854)に発生したM8.4の大地震。この時にも彼同様、発生時の詳細を書き留めた人がいました。松山の神社の宮司が遺した膨大な日記は、今、防災のみならず、地域の貴重な情報資源として現代に受け継がれています/抗いがたい災害を経て、先人は何を伝えようとしたのか。資料保存や継承の重要性を、改めて感じる今日このごろです。

ありがとうございます  
 ございます！



#### れきみんからのお知らせ

【れきみんだより35号の記事について】

前号の記事「これって…なんだろう？」で紹介しました資料(→)につきまして、発行以来多数の情報をお寄せいただきました。改めて深くお礼申し上げます。現在、ご提供頂いた情報を基に調査を進めております。判明しだい本紙でご報告したいと考えておりますので、今しばらくお待ちください！



収蔵庫利用案内

Attention!

#### \* 見学についての注意 \*

【開館時間】！本館の開館時間と異なります！

9:00~16:45

事前の予約が必要\*です。

見学を希望する日時を  
 歴史民俗資料館

☎ 089-964-0701

までお知らせください。

\*1 資料整理のため、木曜日は原則開館していません。

木曜日に来館希望の方についてはご予約は不要です。

\*2 木曜日が月末閉館日・資料整理期間(3月中)と重なる場合は、閉館いたします。また急遽、休館する場合がございます。予めご了承ください。